

東成瀬 図書館だより

〒019-0801

秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字上野 8-1

TEL 0182-38-8711 FAX 0182-38-8712

E-mail narusejidoukan@carol.ocn.ne.jp

2023.7月号 No.96 発行

東成瀬公民館図書室

☆令和 5 年 8 月の特集&新着案内 〈一般書〉

◎ 「 夏本番！海の本・山の本 」

空想の海	深緑 野分
世界でいちばん素敵な海の教室	藤岡 換太郎
ぐうたら神父の山日誌	伊藤 淳
五十八歳、山の家で猫と暮らす	平野 恵理子
キャンプ飯 THE BEST TJ MOOK Mono master 特別編集	
ベアーズ島田キャンプのサボり飯	ベアーズ島田キャンプ
薬に頼らず自分で治す！めまい・ふらつき	新井 基洋
認知症といわれたら自分と家族が、いまでできること	繁田 雅弘
ティール組織	フレデリック・ラルー
くもをさがす	西 加奈子

◎ 「 こわ〜いおはなし 」

ようかいのもり まっくらまつり	長谷川 あかり
ほげちゃんとおばけ	やぎ たみこ
大接近！妖怪図鑑	軽部 武宏
でるでる！おばけちゃん	ひらぎ みつえ
！ねん！くみの女王さま	いとう みく
よるのさかなやさん	穂高 順也
1・2・3・4・5・6・7・8・9・10	谷口 智則
お菓子の箱だけで作るすごい空箱工作	はるきる
かんたんハンドメイド大すき手芸！	トモコ・ガルシア
友だちのこまったがわかる絵本	WILL ども知育研究所

◇今月のオススメの一冊◇

『 黒い海 ~船は突然、深海へ消えた』

伊澤 理江 / 著



その船は突然、深海へ消えた。沈みようがない状況で一。
本書は実話であり、同時にミステリーでもある。日本の重大海難史上、まれに見る未解決事件とその驚くべき「真実」。ジャーナリストが海のミステリーに挑む。

『 ねっけつ!怪談部 』

林家 彦いち / 作



ある小学校に、熱血指導の先生が現れた！
なんと怪談話をする部活の顧問の先生なのだ。だらしのない部員を次々しごいていくうち、おどろきの結末が待ちうける！
おもしろくて、ちょっぴりゾットする噺を迫力の絵で!!!

※ 電話予約もできますので、お気軽にお尋ねください

☆ 図書室利用案内 ☆

8 月の休館日

6 日(日) 11 日(祝) 13 日(臨時休館)

20 日(日)【館内清掃作業】

★休館日の本の返却はブックポストへお願いします★

開館時間

午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分

休館日

・第 1、3、5 日曜日 ・祝祭日
・年末年始

図書の貸出

10 冊まで

視聴覚資料

3 点まで (DVD・CD など)

貸出期間

3 週間



わたしのとっておきの一冊

地域おこし協力隊・なるテック

浅見 勇人 さん からの オススメ



『ティール組織』

～マネジメントの常識を覆す次世代型組織の出現～

フレデリック・ラルー / 著
英治出版

この本は前職で会社の組織の在り方に不信感や限界を感じ始め、いったい何が自分を苦しめているのか解明したい気持ちで探していた時に出会った一冊です。社会の組織について興味のある人やこれから社会人になる人、組織をこれから創る人あるいは既に率いている人におすすめします。

内容を簡単に説明すると、これからの組織とこれまでに作られてきた組織の種類と特徴が詳しく書かれています。本書が分厚く、手に取るには難易度が高いという人には、イラストで解説している公式の書籍『【イラスト解説】ティール組織—新しい働き方のスタイル』があるので、こちらから入る方がよいでしょう。そしてもっと詳しく読みたいと思った時に本書を、の順序がよいかもしれません。

私が読んだ感想は、当時悩まされていた「組織」という大きくどうすることもできないものについて理解を深められたことで、一気に視界が開け今後の取るべき行動が明瞭になった感覚が今でも忘れられません。

組織について知り、また自分がどのような組織に所属したいのか見極めるためにも大いに役立つ一冊ですので、是非一度読んでみてほしいです。

🍀 地域おこし協力隊の皆さんからのオススメを連載しています。
お楽しみに！

おしらせ

児童書コーナーが リニューアルしました！

長～い夏休みがやって来ます！お家や学童クラブで過ごす時間が長くなるこの時期に、ちょっと長めのお話の本に挑戦しましょう。新しい本がたくさん入っています。



また、工作・自由研究や“自学のネタ”のコーナーもあります。どんどん利用しましょう。



読みかたリグループ



『つくしんぼ』コーナー

おはなし会は

8月5日(土)

10:30～11:00
です

会員のつばやき



会員 菅原 早苗 さん

私が読書好きになったきっかけを作ってくれた作家の永井路子さんが、1月に97歳の天寿を全うした。

永井さんを知ったのは中学生の頃、彼女の原作の大河ドラマにはまったことだった。当時のアイドルが出演するからというミーハーな理由で見始めたのだが、知らないうちに数冊ある原作のひとつ『炎環』を読み始めるほど夢中になっていた。

“歴史をさわがせた女たち”シリーズは、色々な歴史上の人物についてわかりやすく紹介されていて、歴史上の女性に関する小説が好きになっていった。同じ歴史上の出来事が、作家さんによって著し方やとらえ方が違っている面白さにも気づいた。そうして歴史小説以外の推理小説やエッセイ等、読む本の種類も広がっていった。

永井路子さんとの出会いが私の読み聞かせへのきっかけのひとつだとしたら…合掌。

